

有限会社エム.エム.ディ

三重県版経営向上計画 《ステップ2》

《テーマ》

新規IT機器の活用による新規販路開拓と
技術提供場所の拡大

会社概要

会社名

有限会社エム.エム.ディ

〒510-8104

所在地

三重県三重郡朝日町埋縄1446番地

TEL 059-377-5209 FAX 059-377-5229

資本金

300万円

役員

代表取締役 水谷 常広

取締役 水谷 純子

事業内容

航空機 自動車 工作機械 各種産業界への省力機設計
専門機設計 自動化機器 治具・検具の設計 新製品開発
工業デザイン テクニカルイラストレーション※

3DCADシステムによる設計関連業務、人材派遣業務

社歴

2005年8月 個人事業にてM.M.D設立

2006年4月 有限会社エム.エム.ディとして法人化

2022年11月 三重郡朝日町埋縄1441-2にて新社屋完成

従業員数

7名(従業員、パート、アルバイト、外注設計人も含む)



会社全景

経営理念

技術からその先へ...

**From technology
to beyond...**

(※テクニカルイラストレーションとは、取扱説明書に載っているイラストのことで、各部品等が立体的に細かく記載してあるもので、家具の組み立て方の説明書等によく記載されているもの)

取り組んだきっかけ

〈課題〉

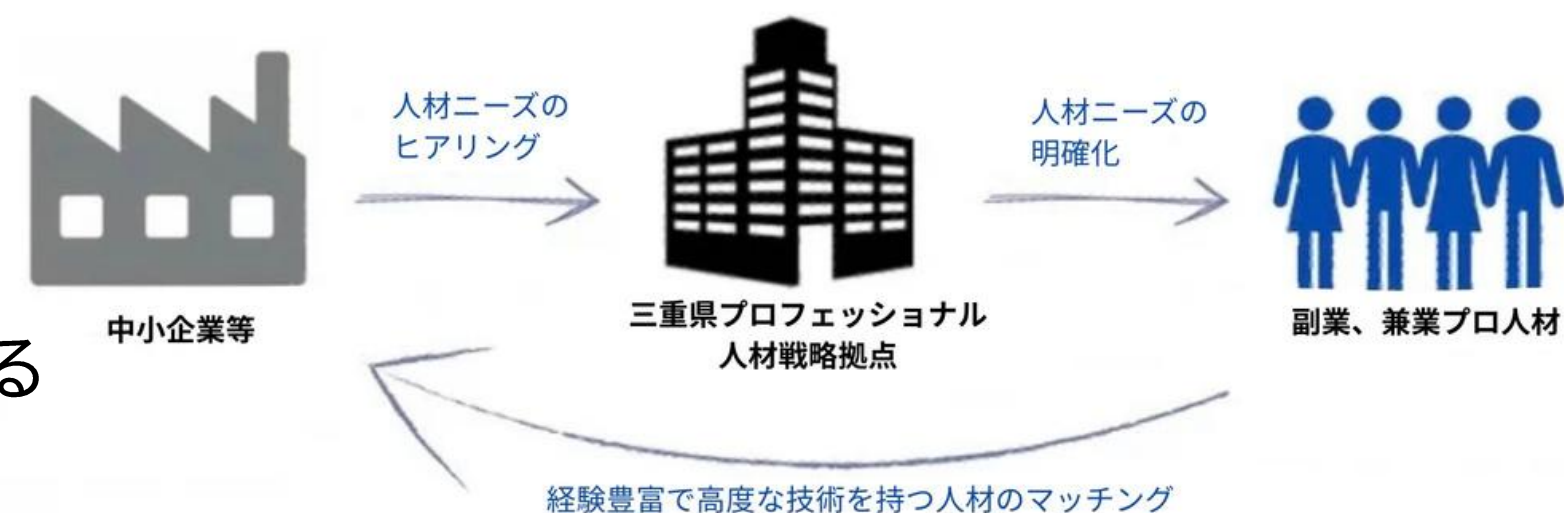
売上高の8割は、運搬機械産業かつ特定事業者が占めており、取引先の影響を受けやすい体質であることから将来に不安を感じている。

〈施策〉

こうした依存度の脱却をするために、シナジー効果を発揮することができる事業ポートフォリオの必要性を痛感したので、新たな取引先開拓に向け、三重県の副業・兼業人材活用推進補助金を活用した。



関東地方と東海地方の2班に分け、それぞれ新規取引の開拓に向けて活動を行うことで、既存事業の拡大と他機械産業への取引拡大を図った。



ターゲット機械産業	前年度増減比 (%)		
	内需	外需	計
鉱山機械	15.0	5.0	14.1
化学機械	5.0	5.0	5.0
プラスチック加工機械	5.0	5.0	5.0
ポンプ	5.0	5.0	5.0
運搬機械	10.0	30.0	17.3

市場動向と受注見直し

市場の動向は、(一社)日本産業機械工業会によれば、2025年度の産業機械の受注見直しは、国内では老朽化設備の更新の他、GX推進政策に基づく投資の増加、再生可能エネルギー関連設備、AI・IoT技術の活用に加えて、省人化・自動化を支援する各種施策の継続も市場の追い風となると見込んでいる。

更に、半導体・蓄電池素材の国内生産強化や防災・減災等の国土強靱化事業の推進により、設備投資が活発化すると予測され、**市場は拡大予想であるため、事業拡大の機会が見込まれる。**

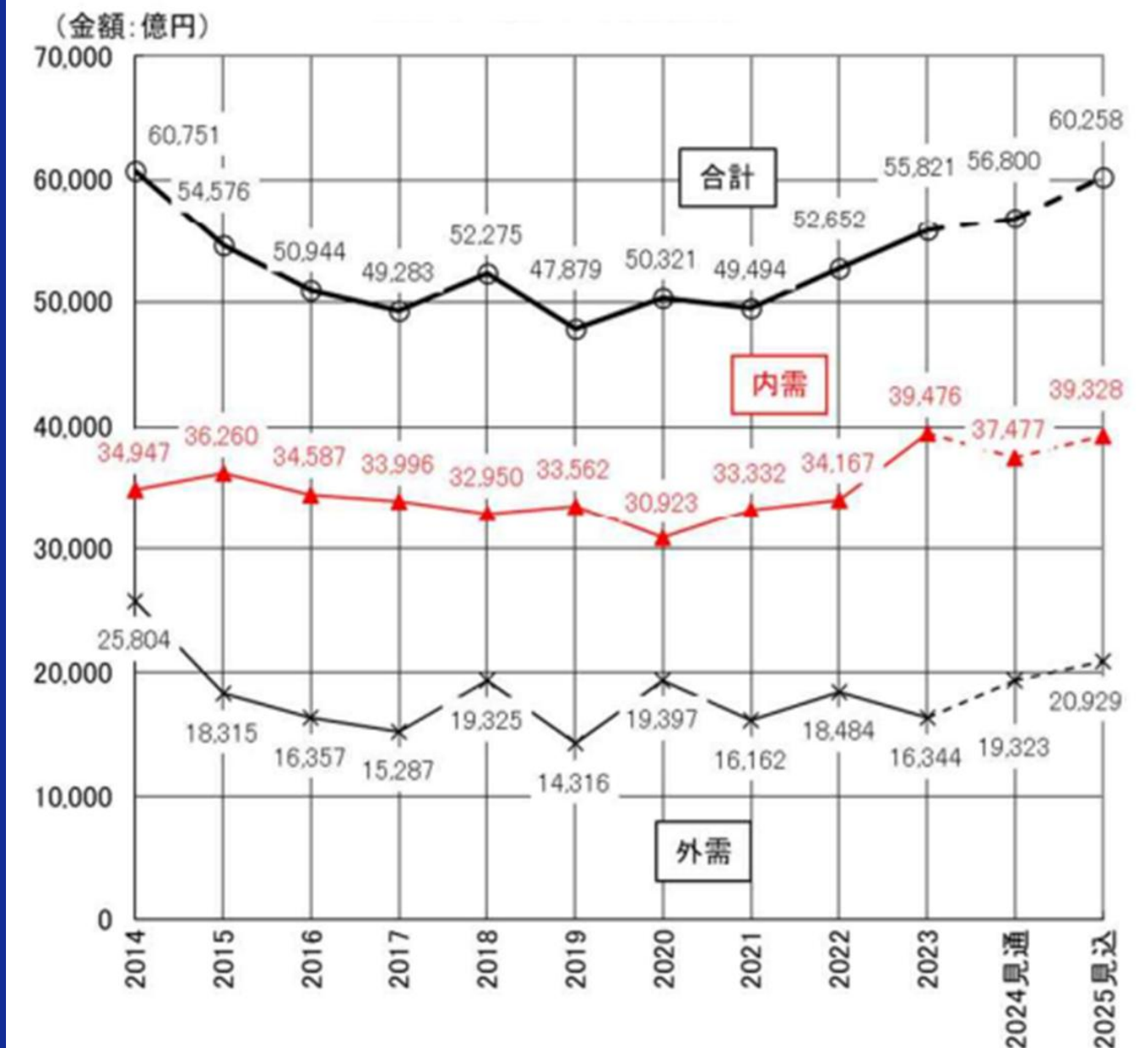
2025年度 産業機械機種別受注見直し

(単位 金額：百万円)

機種	見 通 し					
	2025年度			前年度増減比 (%)		
	内需	外需	計	内需	外需	計
鉱山機械	27,652	2,586	30,238	15.0	5.0	14.1
化学機械	1,093,768	526,255	1,620,023	5.0	5.0	5.0
プラスチック加工機械	74,154	187,422	261,576	5.0	5.0	5.0
ポンプ	404,199	143,318	547,517	5.0	5.0	5.0
運搬機械	344,376	234,913	579,289	10.0	30.0	17.3

出典：一般社団法人日本産業機械工業会「2025年度 産業機械の受注見直し」

受注金額の年度推移



出典：一般社団法人日本産業機械工業会「2025年度 産業機械の受注見直し」

取り組み内容

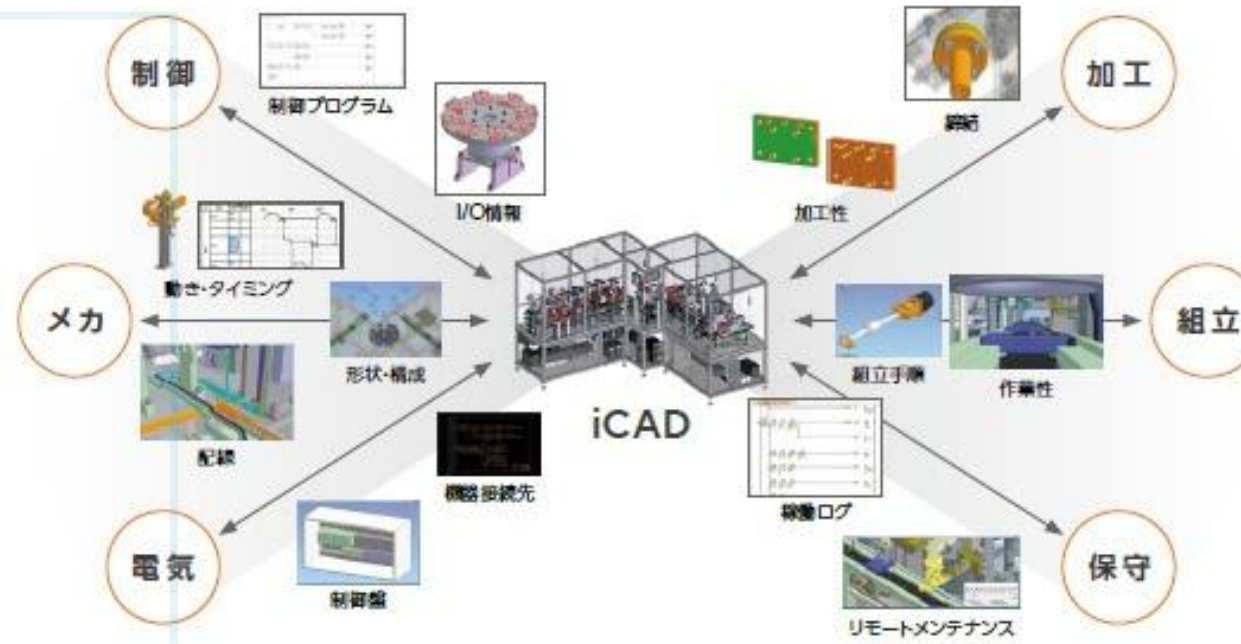
1. 業界を超えた販路開拓



三重県の副業・兼業人材活用推進補助金を活用し、東海、関東の2地区で販路開拓を行うため新たに3名の活動を行った。具体的には、

- ①東海地区では、自動車関連の開拓実績ある1名を雇い既存事業の深堀りによる販路拡大を図った。
- ②関東地区では、健康・美容関連卸売業の経験者と自動車関係機械設計に携わった経験のある2名を雇い入れ、関東地区で自動車部品以外の生産ラインの新規取引先の新規獲得を図った。

2. 業務効率化・生産性向上



3次元CADの導入

機械設計の特徴に特化した国産3次元CADを導入。クラウド上でデータ管理ができ、パソコンがあればその場で図面データを提供可能になったことで、業務の効率化と生産性向上を実現した。従業員のスキル向上にも寄与した。

3. ITの活用



社外からパソコンによって、従業員がどこからでも提案、作業を行える環境を整えたことにより、遠方の社員とも連絡を取り合うことにより円滑な販路拡大活動が進められた。



取り組んだ成果

◎定量成果



副業人材の活用で、新規契約が成立し、毎月60万円ほどの定期的な受注に繋がり、売上前期比9,000千円、売上総利益1,200千円増加した。

◎定性成果並びに本業へのシナジー効果



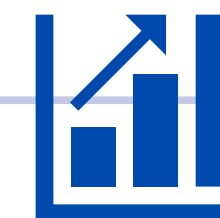
副業人材を活用し東海地区での既存事業の拡大、関東地区での新規事業の拡大と東海地区で重点的に営業を行った結果、効果的に取引先の拡大に繋がった。三重県の補助金等を活用を通して、効率化・生産性の向上に寄与し、支援機関や専門家の意見を聞くことができたことで、事業全体の向上となった。

取り組んだメリット



経営計画を作成することで自分の考えを整理し、進むべき方向性を冷静に判断することが出来た。経営計画を専門家と共に意見交換を行いながら作成することで、計画遂行に向けての目標が明確となり、計画通りに取り組むことが出来た。これまで取引のなかった会社と新たな取引をすることができ、自動車部品以外の会社とも商談まで行うことが出来た。

今後の展望



今後も副業人材を有効に活用して、自動車部品以外への機械設計の新規取引先の増加を進めていく。
さらに3Dプリンター、3Dスキャナーの導入をすすめ、その場で簡易的な模型を作成
・提案することで、取引増加に繋げていく。

地域への貢献



今回の取り組みで新たな雇用を行い、従業員賃金の引き上げを行うことが出来た。さらなる雇用拡大等を行い、地域に貢献していきたい。

今後取り組む方へのメッセージ

経営向上計画の作成は、補助金等の申請にも役立つツールです。

ただ補助金ありきで経営向上計画を作成するのではなく、これからどうしていききたいのか、何を大切にしていって商売を続けていくのかを一度立ち止まって自分自身に問いかけるための道しるべとしても役立ちますので、事前に作成することをお勧めします。

自分のやりたい事、今後の事業の拡大や進めたい事業が明確に決まっていたら、商工会の経営指導員さんに相談してアドバイスをもらう事をお勧めします。

何か利用できる制度があるかもしれません。

ピンチは変えられるチャンスです。是非皆さんもチャレンジして下さい。

有限会社エム.エム.ディ代表取締役 水谷常広

支援商工団体担当からのコメント

代表取締役の経営向上に向けた想いを聴き取りし、誰が申請書を読んでも理解していただけるように整理した計画と一緒に考えながら、計画申請の支援をさせていただきました。代表取締役の水谷さんの課題に対してプロフェッショナル人材戦略拠点と当商工会の連携により課題解決につながりました。さらなる生産性向上に向けて伴走支援してまいります。

経営計画策定をご希望の方は、お気軽に地域の商工会・商工会議所へご相談ください。

支援機関：朝明商工会

経営指導員 萩野 善文